

## 第5学年 社会科学学習指導案

### 1 小単元名 「環境を守る私たち」(7時間)

### 2 小単元の目標

我が国の国土と自然環境と国民生活の関連について、公害の発生時期や経過、人々の協力や努力に着目して、地図帳や各種の資料で調べ、まとめることで公害防止の取組を捉え、その働きを考え、表現することを通して、関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことを基に、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えようとする態度を養う。

### 3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、水質汚染の原因や公害防止の取組を理解している。 ② 調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや、公害から国土の環境や国民の生活を守ることの大切さを理解している。	① 公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、問いを見だし、公害防止の取組について考え表現している。 ② 関係機関や地域の人々の様々な努力と公害防止や生活改善を関連付けたり、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを考えたり、学習したことを基に、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして、適切に表現している。	① 公害防止の取組について、予想や学習計画を立て、学習の振り返をして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ② 学習したことを基に、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えようとしている。

### 4 小単元について

#### (1) 学習指導要領上の位置付け

本小単元は、学習指導要領に第5学年の内容(5)に基づいて設定する。

(5) 我が国の国土と自然環境と国民生活との関連について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア (ウ) 関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解すること。

ア (エ) 地図帳や各種の資料で調べ、まとめること。

イ (ウ) 公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取組を捉え、その働きを考え、表現すること。

(内容の取扱い) 大気汚染、水質汚濁などの中から具体的事例を選択して取り上げること。  
 国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるように配慮すること。

#### (2) 教材について

本小単元では、まず水俣病について学習する。人の手によって汚された河川の影響で、公害を引き起こした事実を調べ、児童の水質汚染に対する問題意識を高めていく。その後、水俣病と同時期に公害の問題を抱えており、東京都の河川として身近な、隅田川の環境保全の歴史について調べる学習を展開する。工場排水や生活排水等で起こった水質汚染により、汚くなった東京都の川や海が蘇った事実から、河川や海の環境保全について考えていけるようにする。

東京都の代表的な川として名の上がる隅田川は、近年東京スカイツリーの建設に伴い、周辺の環境もさらに整えられてきており、現在では、地域住民の憩いの場や全国的な観光地となっている。その隅田川が、全国に公害が広がった頃、深刻な水質汚染に侵され、問題となっていたことを児童は全くと言っていいほど知らない。

隅田川が汚染されてしまった歴史、それをきれいにしようとする行政の働きや人々の願いを学習し、川や海の環境を守っていくためにはどうすれば良いのか、児童に考えさせたい。水俣病や過去の隅田川に起きた公害について学習した上で、川や海の環境を守っていくには何が大切なのか考え、未来に向けて、自分の環境保全への関わり方について思いをもてるような学習を展開していく。

5 単元構想

【本小単元につながる児童の学習経験】

「高い土地のくらし」の学習では孺恋村を扱い、現地の資料を用いて学習を展開することで、孺恋村で起きていることをより共感しやすいように学習を展開してきた。また、「情報産業とわたしたちのくらし」では、インターネットなどの問題を自分事として考えていく学習を展開した。10月に隅田川を実際に見学し、現在の隅田川を見て感じたことを文章にまとめる活動を行ってきた。

【研究内容1】  
主体的に問いを追究する工夫

【問題意識を高める工夫】

水俣病の原因や水質が改善するまでの取り組みを学習することで、公害に問題意識をもたせる。さらに、身近な隅田川でも水質汚染が起きていたことを知ることで、自分の事として考えていけるようにする。

【見通しをもつ工夫】

水質汚染をキーワードに、水俣病から全国の河川、さらには身近な東京都の河川へと問題意識をつなげていく。最後に、現在の海の水質汚染について考えていく。

【内容や資料を選択できる工夫】

隅田川を守るための取組について、行政、立法、地域住民それぞれの立場で考える活動を取り入れ、課題や解決策を多角的に考えることができるようにする。

また「調べる」段階では、自分の疑問や関心に応じてどの資料から調べるかを児童に選択できるようにする。

【協働的に取り組む工夫】

ペアやグループでの話し合い活動により、調べて分かったことを交流したり、学習してきたことを基に、川や海を守っていく取組について、友達と考えを交流したりする活動を行う。

【学びを振り返る工夫】

振り返りカードを活用し、振り返りの視点を明確にすることで毎時間の調べたことや学習状況について振り返り、学習の成果や新たな課題を確認できるようにする。

子供の主体的な問題解決の側面から

過程	想定される「問い」	子供に働かせたい見方・考え方
つかむ	<学習問題をつかむ問い> 水俣病とはどのような公害だったのだろう。	← 公害の発生時期や経過に着目して →
	<学習問題をつかむ問い> 四大公害病と同じ時期の東京都の川や海はどんな様子だったのだろう。	← 公害の分布や広がりに着目して →
学習問題	川や海を守るためにどのようなこと	
しらべる	<しらべる問い> 隅田川はどのようにして汚れてしまったのだろう。	← 汚染の状況、住民の思いや願いに着目して →
	<しらべる問い> とても汚れていた隅田川がどうやって今のようにきれいになったのだろう。	← 行政、立法、地域住民の取組に着目して →
まとめる	<特色や意味を考える問い> 水の汚れは、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろう。	← 水質汚染の原因や着目して人々の健康な生活と関連付けて考えて →
つなぐ	<発展や関わり方を考える問い> 川や海を守るために、どのようなことを大切にしていけばよいのだろう。	← 自分たちの生活と関連付けて考えて →

【研究内容3】子供の学びを確かにする評価の工夫

子供が自分の学びを振り返り、次の学びに生かす評価

振り返りカードを活用し、自分自身の学び方を振り返り、問題解決的な学習の進め方を自覚し、次に学びたいことの見通しをもつ。

### 本小単元で目指す児童像

- 水俣病が水質汚染によって引き起こされた人災であること、身近な川や海も同じ時代に汚染されていたこと、また水質汚染が行政や人々の努力により改善されてきていることを理解している子供。
- 水俣湾と東京湾、過去の水質汚染と現在の水質汚染を関連付けて考え、友達との考えと比較したりして、水質汚染が起きた背景や人々の取り組みを調べ、適切に表現している子供。
- 過去の水質汚染を基に、現在の水質汚染の問題を自分事とらえ、水質改善に向けて、自分が協力できることを自分の生活と関連付けて、選択・判断できる子供

### 社会生活の確かな理解の側面から

見方・考え方を働かせる資料	子供が獲得できるようにしたい知識
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユージンスミスの写真</li> <li>・被害の概要や年表等の資料</li> </ul>	工場排水等が原因の水質汚染により、地域住民に甚大な被害を与えた公害が過去に発生していたが、行政や企業、地域住民の努力により水質が改善されていった。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の公害分布図</li> <li>・「汚染されている隅田川の写真」</li> </ul>	過去には四大公害病が存在し、日本各地で公害が起きていた。同時期には身近な隅田川、東京湾も汚染されていた。

が行われてきたのだろう。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場排水の流れている動画</li> <li>・住民の方の話</li> </ul>	工場排水や生活排水が流れ込んで隅田川が汚れていた。国民生活の変化とともに、川の水質汚染が深刻になっていった。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・法整備に関する資料</li> <li>・行政の取り組みに関する資料</li> <li>・当時を知る住民の話</li> </ul>	隅田川をきれいにするために、法律を整備した。また、それに合わせて行政的な取り組みが、隅田川沿いの区で行われていた。住民もきれいにする取組に協力し、川がきれいになるにつれて、隅田川を利用する人々も増えていった。

隅田川や水俣湾が汚れていた当時は、悪臭が漂っていたり病気が蔓延したりしていた。工場排水や生活排水を流したり、市民の意識が今とは異なっていたりしたことが原因であった。法律が整えられたり、行政による工事が行われたり、住民の環境への意識が高まったりするなど、様々な立場の人々の努力と協力により、水質が改善されていった。公害の発生を防ぐことは、人々の健康な生活を守ることに繋がっている。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都の海の現状</li> </ul>	過去に起こった河川や海の水質汚染が、これからは起きないように、気を付けていくことが大切だ。また、過去の歴史を忘れず、環境を守る活動を広げ、伝えていくことも大切だ。
---	---

### 指導と評価の一体化を図る（教師が指導に生かす）評価

最後に児童が海の汚れについて考えたことを導入の「水俣病」について振り返ることと関連付け、海の水質汚染の改善は、我々の生活にとって必須であることを理解し、社会へ参画する態度を育てる。

### 【研究内容2】

#### 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

##### 【位置や空間的な広がりから見る】

- ・全国の公害の分布や広がりに着目できるように、全国の公害発生分布図等から、全国各地で公害が発生していたことや、主な公害の種類を読み取る活動を行う。

##### 【事象や人々の相互関係から見る】

- ・水（海や川）の汚染と人々の生活を関連付けて考え、国土の環境を守る大切さを考えることができるようにする。

##### 【時期や時間の経過から見る】

- ・公害の発生時期や経過に着目できるように、公害による健康被害や水質改善の取り組みに関する年表などの資料から、ある時期に公害が全国各地で起こっていたことや、それぞれの公害に対して、改善に向けた取り組みが行われてきたことを読み取る活動を行う。

##### 【比較・分類・関連・総合して考える】

- ・公害防止の取組と、環境改善や人々の健康な生活とを関連付けて考えられるよう、関連図にまとめて整理し、環境改善と人々の健康との関連を話し合う活動を行う。

6 小単元の指導計画 (全7時間)

過程	ねらい (数字は時数)	主な学習活動 (○) 問い (◆) 予想される児童の反応 (・)	◎資料 【評価】 □教師の手だて
つかむ	水俣に起きた公害について調べ、水質汚染に対する問題意識を高める。 ①	<p>○水俣市周辺で起きた公害病が水俣病と呼ばれていることを知り、水俣病について調べる。</p> <p>◆水俣病とはどのような公害だったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手が変な方向に曲がってしまっている。</li> <li>・化学工場から流された有機水銀によって、水俣病と呼ばれる公害が発生した。</li> <li>・原因は、水が汚されてしまったことだということがつらい。</li> <li>・当時の水俣では、つらい思いをしている人たちがたくさんいた。</li> </ul> <p>○水俣病が発生した水俣湾の自然環境が、どのように改善されたのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国や県が法律や条例を定めて、工場排水をきれいにすることを義務付けている。</li> <li>・工場は、法律や条例を守って、工場排水をきれいにするようになった。</li> <li>・環境団体などの市民も、海の環境を守るためにできることを活動している。</li> </ul>	<p>◎水俣病患者の写真 (写真)</p> <p>◎流されていた工場の排水 (教科書)</p> <p>◎水俣病裁判の集会の様子 (教科書)</p> <p>□水俣病の深刻さを理解させながら、人災であったことを押さえ、どのように改善していったのかということをつかませる。</p> <p>□水俣病を学ぶことで、同じ時代に発生していた東京都の河川や海の水質汚染について追究するときの視点をもてるようにする。</p> <p>◎水俣病と公害問題にかかわる主なできごと (教科書)</p> <p>□国や県、工場など、水俣湾の環境を改善するために尽力した人々を明らかにしながら、まとめていくようにする。</p> <p>【知技①】 ノートの記述や発言から「公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、公害防止の取組を理解している。」かを評価する。</p>
	河川が、昔汚染されていた事実から問題意識をもち、学習問題を設定し、学習問題に対する予想を基に学習計画を立てる。②	<p>○当時、公害が全国に広がっていたことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国のいろいろなところで公害が発生していた。</li> <li>・海の近くで公害が発生している所が多い。</li> </ul> <p>◆四大公害病と同じ時期の東京都の川や海はどんな様子だったのだろう。</p> <p>○同じ時期の東京都の川や海はどのような様子だったのかを調べ、疑問に思ったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隅田川も東京湾も公害が起こった時期は、水質がかなりひどかった。</li> <li>・見学した隅田川は、ここまで汚れていなかった。</li> <li>・地域の人たちも、川がきれいになってほしいと思っていた。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習問題：川や海の環境を守るためにどのようなことが行われてきたのだろう。</p> </div> <p>○学習問題に対する予想をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣湾のように、東京都の川や海でも、工場の排水によって汚染されたのだと思う。</li> <li>・国や都でも、水質を改善するためのきまりが作られたのではないか。</li> <li>・工場は、きまりを守って工場排水を出すようになったと思う。</li> <li>・住んでいる人々も、川や海の環境を守る取組をしているのではないか。</li> </ul>	<p>◎主な日本の公害分布 (地図)</p> <p>□当時、日本各地で公害が海や川の近くで発生していたことを押させるようにする。</p> <p>◎東京都の河川 (資料)</p> <p>◎隅田川と東京湾の変化 (写真)</p> <p>□昔の隅田川や東京湾の様子を比べることで、河川の環境を改善するためにどのようなことが行われたのかについて、関心を高められるようにする。</p> <p>【思判①】 ノートの記述や発言から「公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、問いを見出し、表現している。」かを評価する。</p> <p>□東京都の主な河川を示すことで、自分たちの暮らしている地域も、昔公害が発生したことを調べることで、より親身になって学習に向かえるようにする。</p>

		<p>○学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔、隅田川が汚れてしまった原因を調べる。</li> <li>・汚れていた隅田川をきれいした取組を調べる。</li> <li>・川の汚れが、海の汚れや生活に及ぼす影響を考える。</li> </ul>	<p><b>【態度①】</b> ノートの記述や発言から「公害防止の取組について、予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。」かを評価する。</p>
調べる	<p>隅田川が汚れていた原因を調べる。③  (本時 I)</p>	<p>◆隅田川はどのようにして汚れてしまったのだろう。</p> <p>○当時の隅田川が、どれほど汚れていたのかを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臭い温泉のようなにおいがした。</li> <li>・色は真っ黒だった。</li> <li>・ヘドロのにおい。</li> <li>・魚は全然いなかった。</li> </ul> <p>○当時の様子が分かる資料を選んで調べ、隅田川が汚れた原因について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活排水が流れ込んでいて汚れた。</li> <li>・工場の排水も流れ込んでいた。</li> <li>・当時の人々は、いろいろな物を川に流すことが当たり前になっていた。</li> <li>・川で漁をしていた人たちは、困ってしまったのではないかな。</li> </ul> <p>○国民生活の変化と河川の汚染原因との関係を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業が発展し生活が豊かになる一方で、環境を守るという意識が低く、隅田川が汚れてしまった。</li> </ul>	<p>◎当時の隅田川の様子 (写真)</p> <p>◎波木井さんの話 (動画)</p> <p>□当時を知る人の話から、隅田川の汚さを知ること、どれほど隅田川が汚れていたか捉える。</p> <p>◎工場排水の流れる様子 (動画)</p> <p>◎隅田川のあゆみ (資料)</p> <p>◎当時の人々の水に対する意識 (資料)</p> <p>□必要に応じて、現在の隅田川の写真と過去の隅田川の写真を見比べ、隅田川の汚れている様子を捉えやすくする。</p> <p>□自ら資料を選択することにより、主体的に取り組めるようにする。</p> <p>□川の水質汚染と国民生活の変化を関連付けて考えられるように、補助発問を行う。</p> <p><b>【知技①】</b> ノートの記述や発言から「公害の発生時期や経過、人々の生活や意識などについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、水質汚染の原因を理解している。」かを評価する</p>

	<p>きれいな隅田川を取り戻すために行われた取組について調べる。④⑤</p>	<p>◆<b>とても汚れていた隅田川は誰がどのようにきれいにしたのだろう。</b></p> <p>○隅田川をきれいにするために行われた取組について、法整備、行政の取組、市民の動きの3つの立場から調べる。</p> <p><b>法整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水質二法だけでは十分な効果が出なかった。</li> <li>・好き勝手に垂れ流しができないようになり、隅田川の水質が改善されていった。</li> </ul> <p><b>行政の取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浚渫が行われ、汚れが取り除かれた。</li> <li>・護岸工事が行われたことで、工場排水や生活排水が川に流れなくなった。</li> </ul> <p><b>市民の取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川をきれいにするようとする住民の願いを選挙に反映させるようにした。</li> <li>・住民の具体的な取組はあまり行われていなかった。</li> </ul>	<p>◎法整備に関する資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水規制の強化</li> </ul> <p>◎行政の取組に関する資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隅田川浄化のあゆみ (資料)</li> <li>・どのように浄化されたのか(資料)</li> </ul> <p>◎市民の取組に関する資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小松屋さんの話 (資料)</li> </ul> <p>□当時のそれぞれの立場から、川をきれいにする取組について調べ、まとめていく。</p> <p>□調べたことをワークシートに整理してまとめ、児童の思考を整理する。</p> <p>◎小松屋さんの方の話 (動画)</p> <p>□実際に隅田川を利用して人々が、どのような思いで川をきれいにしてしようとしていたのかと、いう思いを押しえられるようにする。</p> <p><b>【知技②】</b> ノートの記述や発言から「調べたことを文などにまとめ、関係機関や地域の人々の様々な努力により、公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや、公害から国土の環境や国民の生活を守ることの大切さを理解している。」かを評価する。</p>
<p>ま と め る</p>	<p>これまで学習してきた隅田川や東京湾の水質改善における取組をまとめ、生活に与える影響を確認し、学習問題について自分の考えをまとめる。⑥</p>	<p>○学習してきたことを基に、水の汚れやその原因、生活への影響等をまとめ、学習してきたことを視覚化し、確認する。</p> <p>◆<b>水の汚れは、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海に住んでいる魚が食べられなくなってしまう。</li> <li>・また川が臭く、汚くなってしまう。</li> <li>・新たな病気がはやってしまう。</li> </ul> <p>○これまでの学習を通して考えたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川や海が汚れることで、そこに住んでいる人々に大きな被害を与えることが分かった。</li> <li>・法律を整えたり、川をきれいにする取組をしたりして、人々が協力して川をきれいにできたことはよかった。</li> <li>・もし今、川や海が汚れていたら、自分たちも被害を受けるかもしれないと怖くなった。</li> </ul>	<p>□これまでの学習を児童と共に振り返り、水質汚染の原因と影響について視覚的に捉えられるように整理してまとめる。</p> <p>□過去の水質汚染の影響をまとめることで、川や海の汚れが生活に与える影響を考え、理解できるようにする。</p> <p>□今、水質汚染が起こったらどうなるかを児童と共に考えることで、次時の学習へとつなげていく。</p> <p><b>【思考②】</b> ワークシートなどの記述から「公害防止の取組と、環境改善や人々の健康な生活を関連付けて、環境保全の大切さを考えている。」かを評価する。</p> <p><b>【知技②】</b> ワークシートなどの記述から「調べたことを関連付けて、公害防止の取組の働きを理解している。」かを評価する。</p>
<p>つ な ぐ</p>	<p>現在の水質汚染に対して、自分にできるこ</p>	<p>○川はきれいになったが、現在も海の汚染の問題は、解決たわけではないことに気付く。</p> <p>○現在、海や川にどのような環境問題が起きてい</p>	<p>◎東京都の海の現状 (資料)</p> <p>□本時まで、海の環境問題に対する本を読んだり、総合的な学習の時間</p>

<p>とを考える。⑦ (本時Ⅱ)</p>	<p>るか調べる。 ・海洋プラスチック問題が発生している。 ・赤潮が発生している。</p> <p>◆川や海的环境を守っていくためには、どのようなことを大切にしていけばよいのだろう。 ○川や海的环境を守っていくために大切なことを考えて、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①これまでに学習してきたことを確認し、何が大切かを考える。 ②3～4人のグループで意見を交流し、意見を集約し、まとめる。 ③グループで話し合ったことを発表する。 ④考えを整理して、教師が問い返す。 ⑤再度話し合いをし、話し合った結果を発表する。</p> </div> <p>○小単元の目標を再度確認し、授業の振り返りを行う。</p>	<p>で海的环境について学習したたりしておくことで、児童が日頃から環境問題について考える土壌をつくっておく。</p> <p>□これまでの学習を生かして、今の自分やこれからの自分にどのようなことができるのかを考えていけるようにする。</p> <p>□児童の発表を整理して板書し、児童が2回目の話し合いでどのようなことを話して考えを練り上げれば良いか、児童が気付くように問い返す。</p> <p>【態度②】 ノートの記述や発言から「学習したこと基に、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えようとしている」かを評価する。</p>
--------------------------	--	---

7 本時の学習 I (3/7時)

5年1組 台東立忍岡小学校 主任教諭 佐藤 晶

(1) 本時のねらい

隅田川が汚れていた事実や、その原因を調べることができる。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
つかむ	<p>○当時の隅田川がどれほど汚れていたのかを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臭い温泉のようなにおいがした。</li> <li>・色は真っ黒だった。</li> <li>・ヘドロのにおい。</li> <li>・とにかくくさかった。</li> <li>・魚は全然いない。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     本時の問い：隅田川はどのようにして汚れてしまったのだろう。                 </div> <p>○問いに対する予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみをそのまま捨ててしまっていたのではないか。</li> <li>・工場などの排水をそのまま流していたのではないか。</li> </ul>	<p>◎当時の隅田川の様子（写真）</p> <p>◎波木井さんの話（動画）</p> <p>□当時を知る人の話から、隅田川の汚さを知ること、どれほど隅田川が汚れていたか捉える。</p>
しる	<p>○当時の様子が分かる資料を選んで調べ、隅田川が汚れた原因について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活排水が流れ込んでいて汚れた。</li> <li>・工場の排水も流れ込んでいた。</li> <li>・当時の人々は、いろいろな物を川に流すことが当たり前になっていた。</li> <li>・川で漁をしていた人たちは、困ってしまったのではないかな。</li> </ul> <p>○国民生活の変化と河川の汚染原因との関係を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業が発展し生活が豊かになる一方で、環境を守るという意識が低く、隅田川が汚れてしまった。</li> </ul>	<p>◎工場排水の流れる様子（動画）</p> <p>◎隅田川のあゆみ①（文章）</p> <p>◎当時の人々の水に対する意識（文章）</p> <p>□必要に応じて、現在の隅田川の写真と過去の隅田川の写真を見比べ、隅田川の汚れている様子を捉えやすくする。</p> <p>□自ら資料を選択することにより、主体的に取り組めるようにする。</p> <p>□川の水質汚染と国民生活の変化を関連付けて考えられるように、補助発問を行う。</p>
まとめる	<p>○隅田川が汚れた原因についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民生活が豊かになったが、環境のことは考えられていなかった。</li> <li>・いろいろなものを平気で隅田川に捨てていた。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;">                     国民の生活は豊かになったが、環境への意識は低く、排水を流したりゴミを捨てたりして、川がひどく汚れてしまい、公害が発生した。                 </div>	<p>【知技①】 ノートの記述や発言から「公害の発生時期や経過、人々の生活や意識などについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、水質汚染の原因を理解している。」かを評価する。</p>

<板書>

隅田川はどのようにして汚れてしまったのだろう。

(川の様子) ・温泉のようなにおい

- ・色は真っ黒
- ・ヘドロだらけ
- ・とにかくくさい



(予想)

- ・ごみをそのまま捨ててしまっていたのではないか。
- ・工場などの排水をそのまま流していたのではないか。

(隅田川が汚れた原因)



- ・工場の排水も流れ込んでいた。
- ・急激に汚れた。
- ・産業が発展し生活が豊かになった。
- ・生活排水が流れ込んでいて汚れた。
- ・いろいろな物を川に流すことが当たり前になっていた。

国民の生活は豊かになったが、環境への意識は低く、排水を流したりゴミを捨てたりして、川がひどく汚れてしまい、公害が発生した。



7 本時の学習Ⅱ (7/7時)

5年2組 台東立忍岡小学校 主任教諭 波木井俊介

(1) 本時のねらい

これまでに学習したことを生かして、川や海の環境を守っていくためにはどのようなことが大切か考えよう。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
つかむ	○川はきれいになったが、現在も海の汚染の問題が解決したわけではないことに気付く。  ○現在、海や川にどのような問題が起きているか調べる。 ・海洋プラスチック問題が発生している。 ・赤潮が発生している。	◎東京都の海の現状 (資料) □本時までに、海の環境問題に対する本を読んだり、総合的な学習の時間で海の環境についての学習したりしておくことで、児童が日頃から環境問題について考える土壌をつくっておく。
本時の問い：川や海の環境を守っていくためには、どのようなことを大切にしていけばよいのだろう。		
考える	○川や海の環境を守っていくために大切なことを考えて、話し合う。  ①これまでに学習してきたことを確認し、何が大切かを考える。 ②3～4人のグループで意見を交流し、意見を集約し、まとめる。 ③グループで話し合ったことを発表する。 ④考えを整理して、教師が問い返す。 ⑤再度話し合いをし、話し合った結果を発表する。	◎見学したときの隅田川 (写真) ◎汚染されている隅田川 (写真)  □これまでの学習を生かして、何が大切かを考えていけるようにする。  □児童の発表を整理して板書し、児童が2回目の話し合いでどのようなことを話して考えを練り上げれば良いか、児童が気付くように問い返す。
まとめる	○本時の問いを振り返り、授業の振り返りを行う。 ・マイバッグを持つなど、プラスチック袋をもらわないようにして、海洋プラスチック問題がこれ以上ひどくならないようにしていきたい。 ・これまで勉強したことを忘れずに、これからもきれいな川や海を守っていくようにしたい。 ・海や川の環境に関心を持って、自分からいろいろなことを調べていくようにしたい。	□本時の問いを振り返ることで、川や海の環境を守っていくことに対し児童一人一人が考えをもち、未来に向かって関心をもち続けられるようにする。  【態度②】 ノートの記述や発言から「学習したこと基に、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えようとしている」かを評価する。

**<板書>**

川や海の環境を守っていくためには、ばどのようなことを大切にしていけばよいのだろう。

<現在の川や海の問題>

- ・海洋プラスチック問題
- ・赤潮
- ・東京湾の汚れ

<川や海を守るために大切なこと>

呼びかけていく

世界中の国々ともっと協力する

SDGsが達成される

ゴミを捨てない

過去の歴史を忘れない

今                      中高生                      大人                      老人

→